

日本マス・コミュニケーション学会第35期第8回研究会（メディア倫理法制研究部会主催企画）終わる

「TPPの締結に伴う著作権の非親告罪化とポップカルチャー分野の二次創作を巡る問題について」

日 時：2016年9月13日（火）14:30～16:30
会 場：同志社大学 東京サテライト・キャンパス セミナー室
報 告 者：山田 太郎（前参議院議員）
司 会：玉川 博章（日本大学）
参 加 者：13名
記録執筆者：上原 伸元（東京国際大学）

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）の締結に伴う一連の法改正案の中で、日本国内の著作権法制において、著作権法違反が「非親告罪」化されることの是非について関心を集めた。日本で広く行われてきた、アニメなどを原作として用いた二次創作に対する影響が懸念されたためである。2016年3月に国会に提出された改正案においては、非親告罪の対象は海賊版を販売するような行為に限定され、アニメなどの二次創作の扱いは従来通りとなった。こうした状況を踏まえて、ポピュラーカルチャー分野の表現規制への理解を深めるべく、メディア倫理法制研究部会では、元参議院議員の山田太郎氏を講師に招いた本研究会を企画、実施した。「表現の自由」を政治活動の焦点の一つとし、参議院議員として法案の作成に関与した山田太郎氏から法案作成の経緯や、山田氏が取り組んできた「表現の自由」にかかわる問題についてレクチャーを受けた上で、山田氏を中心に参加者が討議を行った。

山田氏によれば、世界的には著作権侵害を非親告罪としている国が多く、TPP交渉参加国の中では、日本とベトナムのみが親告罪としていた。このため、法案作成に携わる政府関係者は、「非親告罪」化について問題意識を感じていなかった。しかし、「フェア・ユース」の概念に基づいて、違法な複製や許容される二次創作などの範囲を判例の蓄積によって判断してきたアメリカとは異なり、慣行的にある程度の二次創作が許容されてきた日本では、法文上は違法とされる範囲が広範で、非親告罪化されれば、世界に類を見ないほどの厳格な規制となることが予想された。規制の範囲は同人誌などの二次創作のみならず、「コスプレ」にまで及び得るものであり、二次創作の作成や展示に関わってきた関係者からは、今後の活動が不可能になるとの声も聞かれた。アメリカと自由貿易協定を結び、著作権侵害を非親告罪化した韓国では、直接の権利者とは関係のない第三者が、二次創作と見られる著作物の制作者を刑事告訴し、その制作者に対して示談をもちかけるという「著作権コントロール」の問題が起きている。こうした状況に危機感を持った山田氏がMANGA議連（マンガ・アニメ・ゲームに関する議員連盟）なども使って働きかけた結果、日本では非親告罪の対象となる領域が限定され、商業目的の海賊版のみがその対象となった。

山田氏はまた、青少年保護にかかわる表現規制についても言及した。青少年条例に基づ

いて出版物が「有害図書」として指定されると、事実上、販売をあきらめざるを得ないほどの大きな影響がある。消費税の引き上げに関連した軽減税率の適用対象に出版物を含めるかどうか議論された際には、特定の出版物を軽減税率の対象としないように指定するという、事前検閲に当たり得る措置の導入が公然と議論された。にもかかわらず、主要な報道機関はこれを報道しない。出版社や報道機関の多くは進んで「自主規制」に協力して、実質的に表現の自由を狭める立場にあるのが現状だ。報道の自由に対する規制と異なりコンテンツの表現の自由については民間による自主規制が大きな影響を与えている。漫画表現などでも描写が残忍であるとか、性的な連想をさせるという程度でも出版社は幅広く自主規制をしている現実がある。

山田氏はこれらのことを指摘した上で、表現に関しては権利者を代表する団体は存在しても、表現を享受し利用する側の立場に立った団体がないため、議会などでは「表現の自由」を幅広く保障しようという議論につながりにくいという構造的問題がある点を指摘して、レクチャーを締めくくった。

引き続き、著作権の非親告罪化を巡る各権利関係者の姿勢や、著作物の使用料や権利関係者への配分の不透明性の問題に加え、日本におけるフェア・ユースの導入の是非やインターネットの違法ダウンロード問題、さらには北欧発の海賊党に代表されるコンテンツの自由を巡る政治運動にまで話題が及ぶなど、活発な議論が展開された。山田氏は有力な政党や団体の支援もない状態で2016年夏の参院選に出馬し、落選したものの、インターネットやSNSを利用した選挙運動が効を奏して29万票もの票を獲得して大きな注目を浴びた。このことを踏まえて、政治とインターネットやSNSとの関係についても幅広く意見交換が交わされた。

予定の2時間が過ぎても発言が尽きない活発な研究会となった。

以上